令和3年 4月文楽公演 配役表

4月3日（土）～4月25日（日） ※14日(水)は休演

第1部　午前11時開演

花競四季寿

杵茂都陸平＝振付（万才・海女・関寺小町）
藤間紋寿郎＝振付（鷺娘）

太夫　養紫郎
才蔵　玉勢
海女（養二郎後）　勘彌前
関寺小町（養二郎前）　勘彌後
鷺娘清十郎

万才・海女・関寺小町・鷺娘

錣太夫
芳穂太夫
希太夫
靖太夫
碩太夫
宗助
清馗
寛太郎
錦吾
燕二郎

恋女房染分手綱

本田弥三左衛門　文司
幸領（玉誉後）　紋吉前
幸領（玉翔前）　養太郎後
調姫（玉延後）　玉峻前
乳人重の井和生
踊り子（養之後）　玉路前
踊り子（和馬後）　勘介前
腰元若菜紋臣
馬方三吉玉彦
腰元大ぜい

道中双六の段

睦太夫
ツレ咲寿太夫
勝平
ツレ清公

重の井子別れの段

切咲太夫
燕三

第2部　午後2時開演

国性爺合戦

平戸浜伝いより　唐土船の段

野澤松之輔＝作曲
吉村雄輝＝振付

和藤内希太夫
小むつ小住太夫
老一官津國太夫
一官妻南都太夫
梅檀皇女咲寿太夫
清志郎清丈
清公

千里が竹虎狩りの段

野澤松之輔＝作曲

口亘太夫
清允

奥三輪太夫
団七
ツレ団吾
ツレ錦吾

楼門の段

呂勢太夫
清治

甘輝館の段

呂太夫
清介

紅流しより　獅子が城の段

藤太夫
清友

和藤内（玉助後）　玉志前
女房小むつ（養一郎後）　清五郎前
梅檀皇女（清五郎後）　養一郎前
鄭芝龍老一官　玉輝
老一官妻　勘壽
安大人　勘市
錦祥女（楼門）　養助
錦祥女一輔（甘輝館より）
五常軍甘輝　玉男
勢子大ぜい
軍兵大ぜい
腰元大ぜい

第3部　午後6時開演

傾城阿波の鳴門

女房お弓　勘十郎
飛脚亀次
娘おつる　勘次郎
阿波十郎兵衛玉也
捕手大ぜい

十郎兵衛住家の段

口碩太夫
燕二郎
前千歳太夫
富助
後靖太夫
錦糸

小鍛冶

二代目山村若＝振付

三条小鍛冶宗近　玉佳
老翁実は稲荷明神（玉志後）　玉助前
勅使橘道成（紋秀後）　文哉前

稲荷明神　織太夫
宗近　睦太夫
道成　芳穂太夫
ツレ小住太夫
藤蔵
清志郎
友之助
清允
清方

※ 前半…4月3日（土）～4月13日（火）
後半…4月15日（木）～4月25日（日）
※演目の入れ替えはございません。